

會 報

七月二十六日、午後三時より中銀俱樂部に於て、幹事會を開催し、左記事項につき協議す、尙、出席者は下記の如し。
米田、伊藤、高野、照井、林、佐藤、五十嵐、橋内、蓮尾、中村、濱、以上十一名、

協 議 事 項

1. 會則變更の件

先般役員の變更及擴大により會則も全般的に再檢當する事になり、之が草案は濱氏に委託する事に決す。

2. 本會擴充の件

本件に關しては多説なりしが、結局、日に日に會員の増加と、地方幹事の増員と共に地方に支部設置説が擡頭して次回役員會に

提案する事に決定す。

3. 會誌の方針

本誌は從來、技術を主眼とせるものなるが餘りにも數字的固苦さに促はれ過ぎる嫌ひなしせず、依て北邊振興を巡り僻陬の地に涙ぐましい奮闘をつづける會員諸氏の狀況を報道するも可と思考一致し、遂次地方雜信も掲載する事に決定す。

4. 出版物刊行の件

先きに、橋梁設計圖例集を刊行せしが、會員諸氏の便宜を圖る爲、遂次斯うした參考物を刊行すべく之れが、實行方法に就き協議す。

... ..



會 員 移 動 (自康德 6 年 7 月 16 日
至康德 6 年 8 月 15 日)

氏 名	新 勤 務 先 又 は 住 所	舊 勤 務 先 又 は 住 所
横 田 正 三	交通部土門子土木建設事務所	交通部岡門土木建設處
宮 部 正 治	錦州省北票大同ホテル	新京曙町3; 20長谷川工務所
近 藤 安 吉	新京ヤマトホテル	龍 江 省 公 署
河 合 滿 信	吉林省土木廳工務科	新京特別市吉林省土木出張所
植 田 勇 一	濱江省珠河縣一面坡滿拓一面坡訓練所臨時建設部	新京滿拓公社建設部土木科
安 田 靜 夫	北安省鐵嶺縣桃山村岩平林業集合開拓團本部滿拓社員	//

鯉 淵 誠	新京特別市吉林省公署土木出張所	公主嶺吉林省公署土木出張所
片 岡 武 雄	吉林市外小豊滿水力電氣工程事務所	新京水力電氣建設局
金 子 赫 之	〃	〃
古 後 平 八 郎	蒙古包頭市平康里道路局包頭建設處	交通部岡們土木建設處
井 上 鹿 能 介	奉天市大和區奉天治水調査事務所	新京交通部遼河治水調査處
小 磯 三 一	吉林市外小豊滿水力電氣 建設工程事務所	新京水力電氣建設局
大 島 秀 信	奉天省公署土木廳內哈大道路 調査事務所	交通部道路司直轉工事科
森 山 正 夫	〃	〃
吉 井 岐	〃	〃
武 光 順 一	〃	〃
澁 谷 敏 男	〃	〃
齊 藤 義 孝	〃	〃
山 内 仁 一	〃	〃
鈴 木 正 二	〃	〃
三 浦 勘 三	〃	〃
福 元 盛 英	〃	〃
城 谷 富 藏	〃	交通部道路司地方工事科
藤 本 俊 夫	〃	〃
西 岡 正 臣	交通部孫吳河川調査事務所	交通部航路司調査科
金 鎮 國	朝鮮京城漢江水力電氣株式會社	〃
草 野 政 雄	密山交通部治水工程處	〃
多 田 信 一	〃	〃
松 田 良 三	〃	〃
波 田 野 麟 兒	孫吳省公署建設科孫吳出張所	〃
今 橋 幸 一	間島省公署建設科土門子出張所	〃
田 村 初 代 志	安東市大東港建設局水道科	新京特別市公署水道科
長 岡 万 龜 夫	濱江省雙城縣拉林街濱江省土木出張所	濱江省土木廳
宮 澤 德 司	交通部孫吳河川調査事務所	交通部航路司
井 上 丑 太 郎	北安省開拓廳建設科	錦州省公署民生廳土木科
井 關 林 市	交通部牡丹江土木建設處	交通部開魯土木建設事務所
糸 井 正 男	〃	〃
高 嶋 常 雄	錦州市公署工務科企畫股	錦州省公署工務科
川 崎 三 則	北安省開拓廳建設科	錦州省公署土木科
		以上

新入會員氏名

(自康德6年7月16日
至康德6年8月15日)

交通部道路司地方工事科	宮代源作	金敏煥
青木源次郎	米田盛	鈴木駿一郎
新京特別市公署水道科	永沼義雄	高完業
内田辰郎	百瀬房雄	金治根
滿洲拓植公社建設部土木課	角前寛	孔繁桐
瀨古孝一	水力電氣建設局	佐藤孟
栗田暉秋	星野喜三	磯山文雄
富岡義夫	張涵春	清水民三郎
鈴木卓雄	徐廷才	楠谷得治
鐘ヶ江吉雄	田熊德之輔	
西野究	趙	

以上27名
「上記抑紹介入會に御盡力下され
ました會員諸氏に謝意を表す」

編 輯 後 記

- ◎ 支那事變茲に二ケ年餘今や戦線數千軒に渡り、日章旗の翻る所平和漲り着々と復興の道をたどりつゝある。又第三次の「ノモンハン事件」も日滿兩軍の戻ぐましい奮戦により暫次殲滅戦が輾開されつゝあるは實に嬉こばしい。されど尙此後第四次、第五次あるを豫想する時、吾々技術者の責務一層重大さを痛感せり。
- ◎ かかる秋「建設」八月號を會員諸氏に送り研究資料に供せんとす。

- 先づ、高野氏の「石塊堰堤」は本號を以て完了せるも、前號に引續き諸賢の等しく期待せられるものと信じてやまぬ。
- ◎ 矢野氏の「河川法の本質に就いて」の研究は先般河川法の公布を見た折とて吾々の参考資料として大いに三續すべきである。
- ◎ 此の外渡邊、高繩兩氏の「吉林大橋架設報告」五十嵐氏の「彰武雜信」等の寄稿により本號の發刊を見編輯子聊か欣快を感じるものがある。

康德6年6月1日印刷 康德6年6月1日發行〔非賣品〕

發行者 新京特別市惠民路第1代用官舎27號 米田正文
 編輯者 新京市順天區第五代用官舎一〇四號 寺師虎之助
 印刷者 新京中央通四八番地 村上慶助
 印刷所 新京中央通四八番地 世界堂印刷工廠

新京特別市順天大街 交通部道路司内

發行所 滿洲土木研究會

振替口座番號新京1141番

— 發 賣 廣 告 —

滿 洲 土 木 研 究 會 編

橋 梁 設 計 圖 例 集

四 六 倍 版 1,00 餘 枚

正 價 2 圓 60 錢 『送 料 共 』

本設計圖は内務省第2種荷重に準じて設計せるものにして材料表及應力表を附す内容目次を示せば下記の通り

- | | |
|-------------------|-------------------------|
| 1. 鐵筋コンクリート床版橋 | 長 1.5米— 6米、有効巾員 4.5米—6米 |
| 2. T形鐵筋コンクリート橋 | 橋長 7米—14米、有効巾員 4.5米 |
| 3. 同 | 橋長 7米—14米、有効巾員 6米 |
| 4. I 形 鋼 桁 橋 | 橋長 7米—12米、有効巾員 4.5米 |
| 5. 同 | 橋長 7米—12米. |
| 6. 各 種 橋 台 橋 脚 | |
| 7. 鐵 筋 コン クリ ート 杭 | 長 3.6米—14米 |

發 行 所 交 通 部 内
滿 洲 土 木 研 究 會 編 輯 部

橋梁設計圖例集申込書

所
屬

氏
名

申 込 内 譯

品 名	部 數	送 金 方 法	送 附 場 所
橋 梁 設 計 圖 例 集	部		

上 記 之 通 リ 發 送 被 下 度 候 也

推奨すべき簡易舗装の構造と維持

東京市土木局管理課長 山 本 亨 著 定價 ¥1.00

内 容 目 次

- | | |
|-------------------------|-----------------|
| 1, 總 説 | 10, 表 面 處 理 |
| 2, 簡易瀝青舗装の沿革 | 11, 表面處理と交通 |
| 3, 簡易瀝青舗装の語義 | 12, 表面處理と氣象 |
| 4, 路盤と表層 | 13, 表面處理と周圍の狀況 |
| 5, 路盤の沈下量測定方法 | 14, 表面處理の材料 |
| 6, 舗装の龜裂と路盤沈下量 | 15, 表面處理の破損原因 |
| 7, 路盤厚と沈下量 | 16, 表面處理の維持 |
| 8, 表層とフレキシビリティー | 17, 表面處理の修繕方法 |
| 9, フレキシブルサーフェーシングと骨材の粒度 | 18, 表面處理の築造と維持費 |
| | 19, 多層式表有處理 |

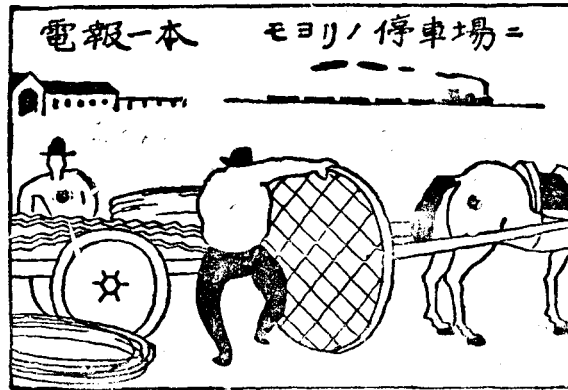
第 3 回 土 木 講 習 會 講 演 集

四六倍判210餘頁 定價1.20 (但シ會員=限り ¥1.00)

内 容 目 次

- | | | |
|--------------------|--------------|-----------|
| 1. 開會之挨拶 | 理 事 | 坂 田 昌 亮 |
| 2. 遼河改修計畫 | 交 通 部 | 原 口 忠 次 郎 |
| 3. 道路の構造物の凍害に就て | 交 通 部 | 米 田 正 文 |
| 4. 河川の基本調査に就て | 交 通 部 | 照 井 隆 三 郎 |
| 5. 塞中コンクリートの現勢 | 土 建 協 會 | 眞 鍋 簡 好 |
| 6. 河川の氷害 | 交 通 部 | 橋 内 徳 治 |
| 7. 朝鮮の河川 | 朝 鮮 總 督 府 | 川 澤 章 明 |
| 8. 最近のセメントの趨勢に就いて | 小野田セメント鞍山工場長 | 西 脇 寛 |
| 9. 土木工事に用滿洲産木材に就いて | 滿鐵々道研究所 | 布 施 忠 司 |

川崎の鐵線蛇籠



川崎鐵網工場

奉天支店

奉天鐵西區興工街三段號六

電話春日局 (3) 6274 圓
6347

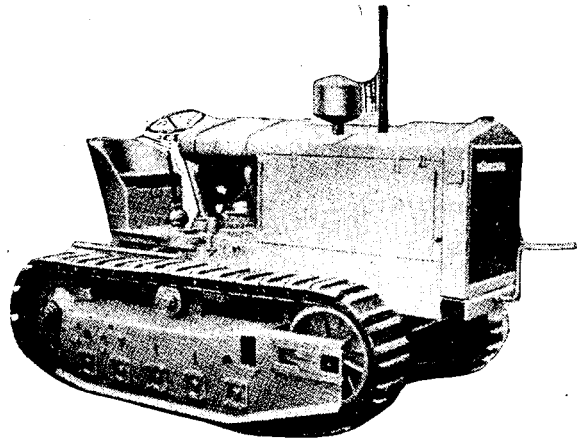
登録電報宛名 奉天鐵西局アマカワサキ

本店 東京市芝區田町二丁目十八番地
支店 出張所 大阪 京城 札幌 福岡
工場 東京 大阪 京城 奉天
滿洲工場 奉天鐵西區興工街三段六號

川崎鐵網商報謹呈

牽引自動車

關道
機軌
油無
重限



獨逸製道路構築用諸機械

其他獨逸製各種機械材料輸入販賣

イリス商會新京出張所

新京大同大街東拓ビル内

電話(二)五八九三

本店 獨逸伯林市
支店及出張所 東京、横濱、大阪、神戸、小倉

新京、奉天、天津、大連

僅かな掛金で

「希望への近道」を

どなたにも、たやすく生命保険に御這入りになれる簡単な方法………



毎月俸給引去
に依り御面倒

なく御掛金が出来而も御家族も同時に御這入りなれます

而して昭和八年來皆様のよき御相談相手として

畑山社員が御用命を承つてをります



帝 國 生 命

新京支店
電話(3)五七二番

獨逸ケルブレ會社製

ロードローラー

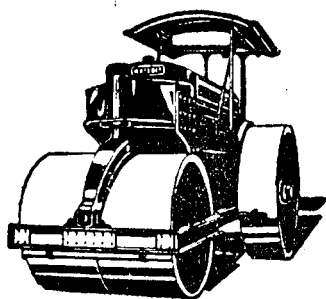
獨逸M・A・N會社製

ディゼル・トラツク

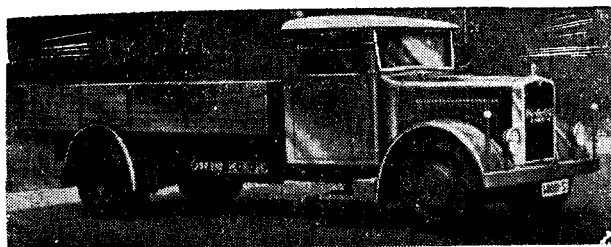
獨逸ランツ會社製

ランツ・ブルドツク・トラクター

KAELBLE
DIESEL



其ノ他獨逸一流製造
會社製諸機械取扱



滿洲總代理店 孔士洋行

(クンスト・アルバース)

哈爾濱・新 京・奉 天・大 連

土木建築 請負業



株式會社 大林組

奉天支店

大連出張所
新京出張所
鞍山出張所
哈爾濱出張所
牡丹江出張所
承德出張所
大連工場

奉天加茂町一六番地
大連市東公園町三五番地
新京永樂町三丁目五番地
鞍山北四條町一番地
哈爾濱新立街長官公署街九番地
牡丹江省寧安縣牡丹江圓明街
承德糧市街
大連市三春町三〇番地

電話代表長 二一四二一(4)番
電話代表長 二一一七一(4)番
電話長 三二二六八〇番
電話長 二七八三番
電話長 五一七〇番
電話長 二三番
電話長 一一八番
電話長 三一四一二番

北京支店

奉天工場
天津出張所
青島出張所

奉天西區南三路二二番地
北京南池子大街二九號
天津特別第三區六緯路七七號
青島市河南路二四

電話長 四〇四四番
電話長 八七三番
電話長 三二九七〇番

支店 營業所所在地

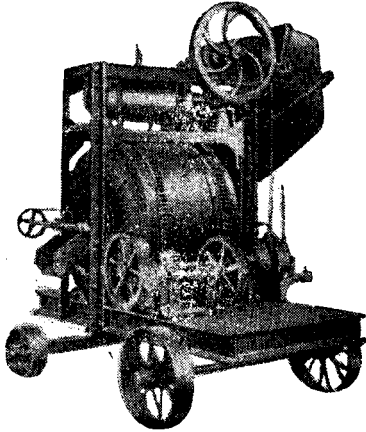
東京、橫濱、名古屋、福岡、京城、京都、神戶、金澤、靜岡、廣島、仙臺、臺北
工作所……大阪、東京

本店 大阪市東區京橋三丁目七番地五

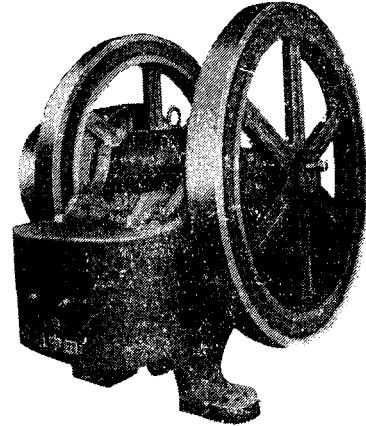
田中の土木機械

東京 田中土木機製作所 京橋際

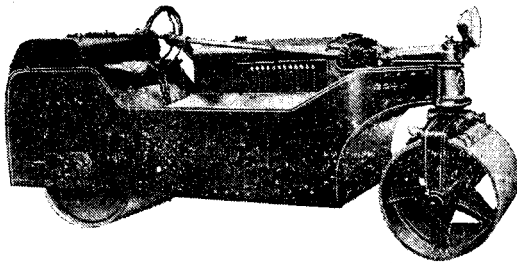
中式コンクリートミキサー



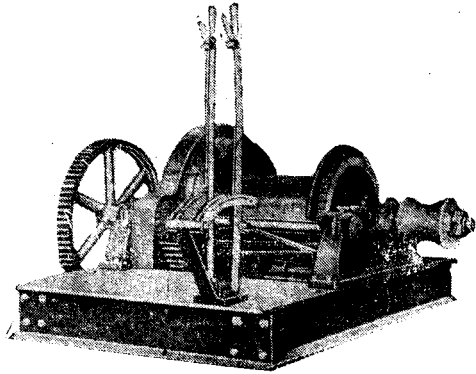
田中式ブレーキ・クラツシャー



田中式ロードローラー



田中式捲揚機



營業品目

コンプレツサー	各種ポンプ
ガソリン機	コンクリート振動機
セメントガン	運搬車

滿洲國代理店

株式會社 **大信洋行機械部**

本社	大連市	監部通	電話②1101
新京支店	新京日本橋	通り八三番地	電話③4302
奉天支店	奉天市大和區	大西邊門外大街	電話②2539

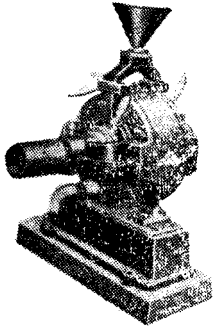
製造元 **田中土鑛機製作所**

東京市京橋區京橋三丁目五番地(京橋際)

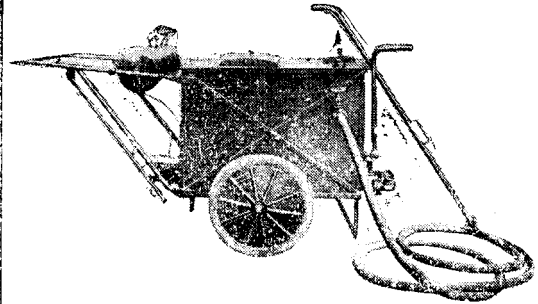
田中の舗装機械

東京 田中土木機製作所 京橋際

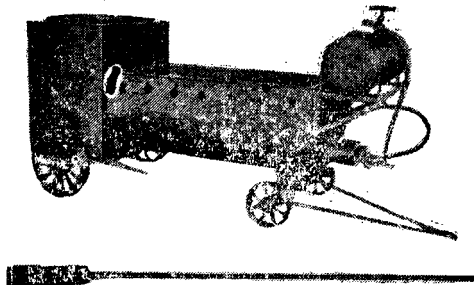
田中式乳劑製造機



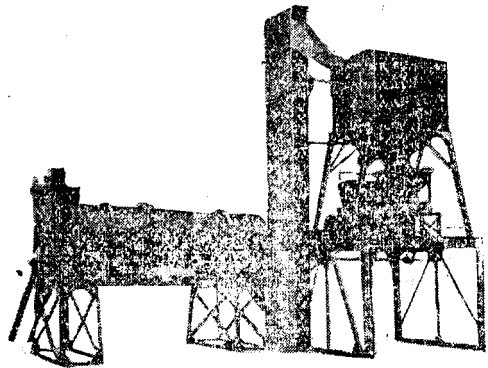
田中式^{アスファルト}瀝青乳撒劑布機



田中式アスファルト手練プラント



田中式アスファルトプラント



鮮 滿 代 理 店

淺 野 物 産 株 式 會 社

新 京 支 店	滿 洲 國 新 京 海 上 ビル	電 話	②6160-6161
大 連 支 店	大 連 市 出 縣 通 二 番 地 東 拓 ビル	電 話 本 局	3525
奉 天 出 張 所	滿 洲 國 奉 天 加 茂 町 一 四 番 地	電 話	②4628
哈 爾 濱 出 張 所	滿 洲 國 哈 爾 濱 道 裡 面 包 街 二 號	電 話	4785
朝 鮮 出 張 所	朝 鮮 京 城 驛 前 片 倉 館	電 話 本 局	6872

製 造 元

田 中 土 鑽 機 製 作 所

東 京 市 京 橋 區 京 橋 三 丁 目 五 番 地 (京 橋 際)

洋 灰 大 同

牌 麟 麒



賣 販 手 一

社 會 式 株 ト ン メ セ 野 淺

所 業 營 京 新

階 壹 館 會 德 康 街 大 同 大 市 別 特 京 新

(九 三 五 一 (二) 圖 七 二 五 二 (二) 圖 話 電)

(六 七 六 四 . 二 二 三 四 (二) 圖 話 電) 二 六 町 馬 對 市 達 大 . 所 張 出 達 大

(五 九 五 三 圖 話 電) 七 三 街 地 田 裡 道 賓 爾 哈 . 所 張 出 賓 爾 哈



品質

優良
均齊

小野田ポルトランドセメント
 小野田早強ポルトランドセメント
 小野田白色ポルトランドセメント
 小野田高爐セメント

關東州小野田セメント株式會社

本店 大連市泡崖屯

工場 大連市泡崖屯
 滿洲國鞍山

滿洲小野田セメント株式會社

本店 滿鐵連京線泉頭

工場 滿鐵連京線泉頭

内外一手販賣 三井物産株式會社